

# 足立革新懇

## 第33号

2024年3月1日（金）

連絡先：足立区労連

TEL:3887-8140

### 3つの共同目標

- ①日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

平和・民主主義・暮らしを守る一区内各地で広がる共同の取り組み



足立革新懇は1月23日（火）午後3時から北千住駅西口デッキで「自民党政治を終わらせよう！タウトーク」を行い、能登半島地震被災者支援募金とガザ難民支援募金、憲法改悪を許さない署名と大軍拡・大増税を許さない全国署名への協力を訴えました。革新懇、新婦人、性的少数者友・家族の会などから9人が参加し、2つの署名には計9名、能登半島被災者支援募金4412円、ガザ難民支援募金3200円が寄せられました。

4人の弁士がかかるがわる、れ、その7割が女性と子どもたち、病院や学校等への攻撃は国際法も、人道上も許されない蛮行、直ちに停戦の声をあげると同時に、難民支援の募金への協力を訴えました。

自民党派閥の政治資金パーティー収入をめぐる裏金事件への批判が広がり、派閥を解散する事態になっているが、肝心なのは徹底した真相解明を行うこと。また、「失われた30年」で国民の暮ら

## 北千住駅西口デッキで街頭宣伝 若い世代からの反応に確信！

能登半島地震の深刻な実態と被災者支援の遅れ、避難所の食事がパン1個など、政府が災害対策を怠ってきたことへ怒りが広がっていることを訴え、被災者支援募金への協力を訴えました。また、イスラエルによるガザへのジェノサイドで2万5000人も命が失われ、その7割が女性と子どもたち、病院や学校等への攻撃は国際法も、人道上も許されない蛮行、直ちに停戦の声をあげると同時に、難民支援の募金への協力を訴えました。

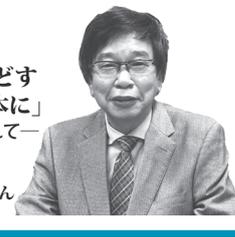
が大変ななっている一方、戦争する国づくりで軍事費大拡大がすすめられている実態を告発。そして、「自民党政治を変え、市民と野党の共闘でジェンダー平等、希望ある平和な政治に変えていこう」と訴えました。高校生や若者の通行が多く、募金や署名に若い世代がこたえ

てくれました。革新懇のチラシをうけとった大学生は、「これは政治活動だね」「政治に関心がある」と話し、募金と署名を

2つの募金を同時に呼びかけ、平和の署名も訴えるということは初めての経験でしたが、若い世代が応えてくれる姿に、政治を変えていく革新懇の活動が重要と実感しました。

2024 3月23日(土) 午後1時30分開会  
東京土建足立支部 土建会館 東武スカイツリーライン「梅島駅」から徒歩8分

第1部 足立革新懇総会  
来賓あいさつ 活動のまとめ・方針案 次年度世話人の提案 決算報告/会計監査報告 討論



第11回 足立革新懇総会

今、能登半島地震の被災者支援、自民党の裏金事件など、政治が解決しなければならぬことは山積みです。世界第2位の経済大国から今や第4位に転落した日本、少子高齢化で人口は減少、物価高騰も止められず、一方で、大企業の内部留保は513兆円に達しています。低賃金の日本から、毎年6000人以上の若者が海外に出稼ぎに出かけます。政治と経済の行き詰まりを打開し、賃金上がる国、老後も安心して暮らせる国を取り返すことができるのか…「国会きつての経済通」大門実紀史さんにお話をいただきます。

第2部 記念講演 午後2時30分～  
「失われた30年を取りもどす 暮らしに希望もてる日本に」  
—自民党の金権腐敗の実態にふれて—  
前参議院議員 講師 大門実紀史さん



13区

市民連合あだち

北千住西口デッキで街頭宣伝

自民党政治終わらせよう！

2月12日、北千住西口デッキで18名が参加し、自民党裏金問題の徹底説明、総選挙や7月7日投開票の都知事選挙、都議補選で「自民党政治を終わらせませんか、市民と野党の共闘で清潔な新しい政治に変えよう！」と訴えました。

共産党の西の原ゆま区議は「能登半島地震救援・支援募金

に全力。足立区では3300億円の予算をどう使うのか区議会が審議が始まる。区は23区で一番高い介護保険料をさらに値上げ、教師不足で大変な学校のスクールカウンセラー3割減など、区民のくらしや教育・介護があぶない！区議団一丸で頑張る」と訴えました。 社民党荒川支部長の坂本さん

は、「能登半島地震ではインフラのダメージが多かった。公共で働く職員を削減してきたことが救援・支援を遅らせている。自民党国会議員の裏金や政党助成金など被災地・被災者支援に回すべきではないか。志賀原発問題では福島みずほ党首と北陸電力に調査を申し込んだが断られた。原発再稼働反対、廃炉を」と訴えました。他に、足立っ子供給食無償化ネットワーク、9条の会、足立区労連議長、足立革新懇事務局長が訴えました。 通行人が立ち止まって市民連合の手作りのチラシ「裏金にま

足立区「20歳のつどい」



戦争・物価高・低賃金…問題山積 青年に平和で輝く未来を！

1月8日、足立区の「20歳の集い」（成人式）会場の東京武道館前で、足立革新懇、区労連、教職員組合、戦争いやだ！足立憲法学習会、新日本婦人の会、原水協をはじめ区内諸団体が宣伝行動を行いました。

各団体から「賃金が上がらる前に、働いたら正規が当たり前の社会を」「ガザ・ウクライナの戦争、即時停止を」「先生増やして豊か

代表世話人

な学校教育を」などとアピール。 若者からは「戦争で子どもたちが殺されていることに耐えられない」「平和が何より大切」「物価高で生活が大変」「賃金上がっていくのか、年金をもらえるか、将来の不安が多い」「政治のことを考え、選挙に行かなくては」などの声も聞かれ、憲法改悪反対や核兵器禁止条約への参加を求める署名に応じてくれました。

荒川市民アクション&希望をつなごう東京29区の会

29区

町屋駅で街頭宣伝 能登地震募金9000円余

荒川市民アクション&希望をつなごう東京29区の会（荒川・足立西部）は2月9日昼に町屋駅前で13名が参加し、立憲民主党、日本共産党の旗も掲げて能登半島地震救援募金、自民党裏金問題の徹底説明などを訴えました。

「自民政治を終わりに！」 荒川区の共産党・横山幸次区議と立憲民主党・久家しげる区議は「能登半島地震救援、自民党の金権腐敗政治は許されない、自民党政治を終わらせる大運動に全力をつくしたい」。など切実に訴えました。市民からも「お金で動く政治ではなく、市民の声で前に進める政治に市民と野党の共闘を前進させて変えていきましよう」と力強く訴えました。



宣伝後の会議では、意見交換会開催や4月27日区役所前集会とパレード、5月に都知事選挙争点学習会を計画しています。 事務局長

# これで年が越せる… 足立たすけあい村に 400人を超える来場者



12月30日、コロナ禍で6回目となる「足立たすけあい村」が竹の塚第5公園で開催され、食料配布に400人を超える方が来場されました。開始予定の1時間前には並ぶ人の列ができ、予定を早めて配布を開始。多くの方から寄せられたカンパ物資を含め、約350kgのお米や餅、カップ麺やレトルト食品、大根・白菜・人参・サツマイモなどの野菜、バナナ、お菓子や飲料、生活用品や洗剤等の日用品、衣類などが用意され、来場者に配られました。高齢の方や、子ども連れの女性が多く、外国人の方や車椅子で来られた方もいました。

食料を受け取った方からは、「物価高で生活が大変、食料品の配布は本当にありがたい」「久しぶりに野菜たっぷりの鍋ができる」、子どもたちからは「お菓子がたくさんあって良かった」などの声が寄せられました。なんでも相談コーナーには11件の相談が寄せられました。77歳の男性は「持病があるが医療費の自己負担が大変」、70歳の女性は「収入は月額9万円の年金しかなく家賃にほとんど消えてしまう」などの深刻な相談が寄せられ、年明けの福祉事務所への同行を約束したケースもありました。労働相談では、72歳の女性から「6年もパートで働いているが、1月末でやめてくれないかと言われた。今までは何の問題もなく自動的に契約更新してきたのに、理由も言われずの雇止めは納得いかない」との相談。更新を繰り返してきたので、理由なく雇止めはできない。「やめない、引き続き働きたい」とはつきり主張し、認められなければ労働組合として交渉できる、とアドバイスすると少しほっとした表情を浮かべていました。

## 血圧測定、健康相談

多くの来場者から、物価高騰での生活の苦しさ、岸田政権の無策ぶり、また「こうした支援は本来政治が責任を持ってやるべき」との声が寄せられました。

岸田政権の大軍拡・大増税政策をストップさせ、いのちと暮らしを守ることを最優先にする政治への転換が必要ですよ。

代表世話人

岸田政権は、統一教会問題への無責任な対応、裏金問題、物価高騰への対応、大軍拡と9条改憲の大合唱などを推し進め、あらゆる分野で行き詰まっています。また、戦争する国づくりを推し進める「安保3文書」については敵基地攻撃能力の保有とその発動要件、大軍拡の財源などが焦点となっていますが、戦争の終結が一向に見えないウクライナやガザを見れば、外交戦略なし、軍事一辺倒で突き進む主張・政策はあまりに無責任すぎると言わざるを得ません。

## 政治変革に青年は立ち上がる

民青同盟足立地区副委員長 小林 太朗

物価高騰への無為無策など、自民党政権の内閣支持率は毎日新聞で14%、朝日21%、時事通信16・9%と、いずれの調査でも過去最低を更新し、いわゆる「危険水域」に突入、そう遠くないうちに退陣を表明する可能性があります。

岸田内閣の低支持率は、単に岸田首相の人間性の問題でなく、安倍政権、菅政権から10年以上続く自民党

政権の行き詰まりの現れであり、まさに政治の革新が求められています。自民党政権と青年の願いの矛盾が強まっており、民青同盟も呼びかけている「敵基地攻撃能力保有・大軍拡に反対する青年の草の根ネットワーク運動」では、岸田政権による9条改憲や「戦争する国づくり」を許さないという一致点で運動を起こすものです。全国で単位ネットワークが作られており、現在は足立だけでも4つの単位組織が発足しました。パンフレットをみんなで学習したり、公式LINEを始動するなど、草の根から「戦争する国づくり」を許さない世論づくりに青年・学生たちが立ち上がっています。

6月30日には、全国の青年が集まる毎年恒例の若者憲法集会が行われます。今年はこの期間に都知事選も行われます。小池都政は2期8年が経過しようとしています。小池都政は「自民党との違い」を打ち出しても、過去に核武装を提言したり、関東大震災朝鮮人・中国人虐殺をめぐる追悼式にメッセージを送らないなど自民党政治と何ら変わりはありません。都知事選には、若者憲法集会で大きな運動のうねりを作り、直後の選挙本番までに政治を変える流れを作るきっかけになれるよう、私自身も今から動き出したいと思っています。

## 青年コーナー

足立区げんき応援助成金事業・ミモザプロジェクト2024

# 国際女性デー・プレイベント (足立区後援)

国際女性デーを前に「ジェンダーについて知り、考える1ヶ月」として、3つの学習会と「ミモザ展ミモザフェス」が企画されました。会場（エル・ソライア）には、およそ50人が参加し熱心に耳を傾けました。

2月4日

## 『女性差別撤廃条約 選択議定書について学ぶ』

講師 浅倉むつ子さん

(早稲田大学名誉教授・OPアクション共同代表)

### 法から見るジェンダー平等

講師の浅倉さんは、まず女性差別撤廃条約ができるまでの経過、条約の構成と特色、日本の批准（1985年）・加入の経緯を話されました。現在、同条約の締約国は189カ国。

続けて、女性差別撤廃委員会、国家報告と審査制度、一般勧告とは何か、条約が規定している女性差別とは何か、の内容について話されました。

次に、今回のテーマの「選択議定書」についての話。条約の実効性を強化する、権利侵害されたものを救済するための個人通報制度を内容とするもう一つの条約として、1999年に「選



上げ、国会に批准を求める署名活動、地方議会の意見書採択活動を進めています。採択した地方議会は、都道府県10を含む全国212（2023年12月現在）になっています。

その後、会場参加者から多数

「選択議定書」が採択され、翌年に発効しています。現在115カ国が批准していますが、日本は未だに批准していません。個人通報制度の具体例や、日本において個人通報制度を待つていくつかの事例について話されました。日本政府は長年にわたり、女性差別撤廃委員会より批准を要請されているが「検討をすすめる」として批准に踏み切っていない。

批准を強く望む多くの団体（71団体、2023年12月現在）が、「批准しないとほじまらぬ」「女性の権利を国際基準に」とOPアクションを立ち

の質問・意見が出されました。夫婦別姓と子どもの姓、公務員の研修、ジェンダーギャップ指数がなぜ低いのか、宗教とジェンダー平等、女性議員が選ばれにくい選挙制度、暫定的措置とは、各地での意見書採択への取り組み等々。

浅倉さんはそれらに丁寧に答えられ、足立区は未だ意見書を採択していない。是非みんなの

は55年8月の原水爆禁止世界大会や組織を生み、国際的にも新しい反核平和運動へ大きな影響を与えました。

2021年に発効した核禁条約をまだ批准していない被爆国日本を、参加へと動かすことが決定的に重要です。そのために日本原水協は「ビキニ被災70年から被爆80年へー非核日本をめざす全国キャンペーン」を提唱しました。

午前の故久保山愛吉墓参行進を元気に歩き通し、墓前祭では7名全員でバラを献花し、愛吉さんが「原水爆の犠牲はわたしを最後に

### 3・1ビキニデー 高草木博共同代表の報告

## 「再び原水爆被爆者を出さない」 一墓前で誓い新たに

午前の故久保山愛吉墓参行進を元気に歩き通し、墓前祭では7名全員でバラを献花し、愛吉さんが「原水爆の犠牲はわたしを最後に

◇ ◇ ◇

足立原水協事務局長



声で意見書採択を実現してほしいと結ばれました。足立区は全国に先駆けて「男女共同参画社会推進条例」を全会一致で採択（2003年）しています。女性団体連合会の機関紙「プリズム」では、継続的に「女性差別撤廃条約」の話題を取り上げています。

事務局

